

## 経済社会学会 第 55 回 全国大会プログラム

2019 年 9 月 7 日 (土) ～8 (日) 会場：熊本大学黒髪北キャンパス

### 大会テーマ：「絆の経済社会学」

我が国におきましては近年震災やその他の自然災害とかが発生して、当事者はもとより皆が心を痛めている状況です。2011 年 3 月には東日本大震災に見舞われました。国内外の多くの支援が見られました。私自身も 2016 年 4 月の熊本地震に見舞われた身です。

そこで 2019 年 9 月に熊本大学で開催される第 55 回経済社会学会の全国大会では、こうした 災害・災難などの非常時にそしてその後の復興期に民官挙げての様々な援助活動が繰り広げられる事態に含まれている人間的な意味を、或いは待たないで私たちに突き付けられる高齢社会がもたらす諸問題、諸課題、その中には当然ながら福祉、介護の諸問題が含まれるでありましょうが、そうした種々様々な現代社会が抱える経済社会の問題を、それも経済社会学的な観点から問うていくことが可能ではなかろうか、さらに必要ではなかろうかと考えてみました。

こういう訳で「絆」という観点から経済社会学的な諸考察という実践と成果を持ち寄れないだろうかという問題提起を行いたいと考えます。「絆」というと何か最近いろいろな場所・地域においてそれも前触れもなく私たちに襲い掛かってきた災害・災難の非常事態に際会しましたら、私たちは、お互いが他者を深く思い遣って、「復興支援」という形で官民挙げて援助の手を差し伸べます。それは何故か？きわめて単純な事柄と思われれます。われわれ人間は、もともと一人では生きていけない。協力して力を合わせて助け合うことによって、時代・地域・文化の相違をたっぷりと含みながらも、今日まで生き抜いてきています。そこには、もちろん部族間での、あるいは国家間での戦いもみられた。そうした様々な局面を経験通して、少しずつより人間に相応しい生存様式を生み出してきている、むしろ、その途上にあると言うべきではないでしょうか。

人間を個人的でもあると同時にそれと切り離しがたい仕方で社会的でもあるという人間本性観に立脚する立場からは、言うまでもないことですが、上にのべた事態は「連帯性」の原理に色濃く反映されている筈です。様々な切り口から一何も震災に限らず、医療・介護などはもちろん、国境を超える活動もあれば地産地消にみられる地域づくりの取り組み、地域通貨の普及利用その他いろいろ、一人間の根本的な存在側面に及ぶ「絆」ないし「連帯」に関する諸考察を持ち寄ることが出来ますならば、幸いに思います。

大会準備委員長 山田 秀 (熊本大学)

▷大会事務局：熊本大学法学部・山田秀研究室 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 40 番 1 号

TEL：096(342)2813 (山田研究室) Email：ses2019090708@yahoo.co.jp

▷受付開始時刻：7 日 (土) 9：00～／8 日 (日) 9：00～

▷大会参加費：3000 円 (昼食代・懇親会費含まず) ▷懇親会費：4500 円の予定

▷大会受付にて新年度 (2019.09-2020.08 年度) の会費納入もお願いしております。

### <大会プログラム委員会>

西部：小林甲一 (名古屋学院大)・永合位行 (神戸大)・鈴木純 (神戸大)・平手賢治 (岐阜協立大)

東部：恩田守雄 (流通経済大)・織田輝哉 (慶應義塾大)・森周子 (高崎経済大)

## 《交通アクセスおよび宿泊について》

### 【JR 熊本駅から】

産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

市電+産交バス：市電の健軍行きに乗車し「水道町」で下車。産交バスへ乗換。水道町バス停より、楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

都市バス：第一環状線 [駅 2]（大学病院・大江渡鹿経由）「子飼橋」下車徒歩 10 分

### 【JR 上熊本駅から】

都市バス：第一環状線 [駅 1]、昭和町線（子飼橋経由）「子飼橋」下車徒歩 10 分

### 【交通センターから】

（16 番のりば）

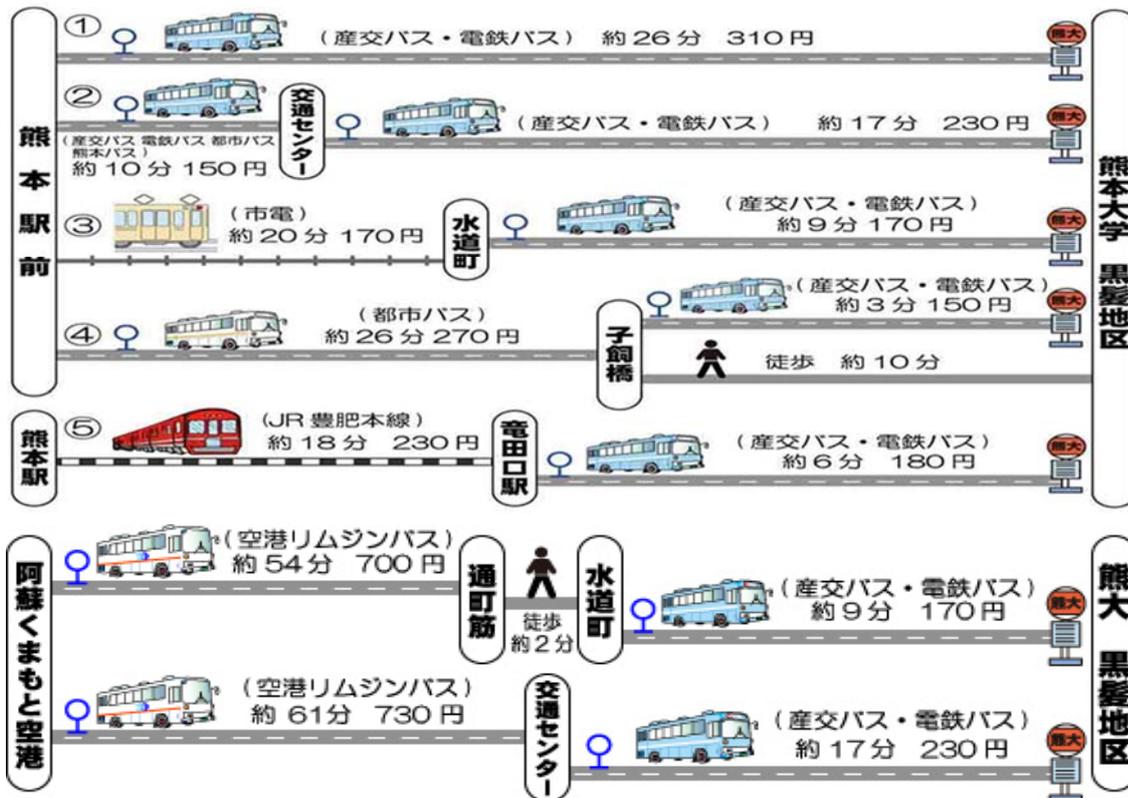
産交バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

電鉄バス：楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車

### 【阿蘇くまもと空港から】

空港リムジンバス熊本駅行き「通町筋」下車、

「水道町」から産交バスで楠団地、武蔵ヶ丘等（子飼橋経由）「熊本大学前」下車



\* 詳しい交通案内は、以下をご参照ください。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/access>

\* 詳しいキャンパスマップ（黒髪北地区）は、以下をご参照ください。

<https://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/kurokamikitaku>

宿泊については、熊本駅周辺、又は中心街が便利です。各種ホテル予約サイト等でご予約ください。

なお、お早目のご予約をおすすめ致します。

経済社会学会第55回全国大会プログラム案（於：熊本大学黒髪北キャンパス）

第1日 9月7日 土曜

9:00 受付開始			
9:30-10:20	A2教室	A3教室	B3教室
1-1	公共的役割を担う地域自治組織の実態とそのプロセス 報告者：稲垣円(慶應義塾大・院)	2-1 暗黙知と自生的秩序 報告者：小島秀信(同志社大)	3-1 自己実現の再解釈と実践モデルに関する実証的研究—(絆)を中心として— 報告者：陳淑琴(東京福祉大・院)
	討論者：村上寿来(名古屋学院大) 座長：恩田守雄(流通経済大)	討論者：今池康人(関西医科大) 座長：近藤真司(大阪府立大)	討論者：安藤りか(名古屋学院大) 座長：袖川芳之(京都先端科学大)
10:30-11:20	1-2 ケイパビリティのリスト—アクィナス・セン・ロビンズ— 報告者：佐々木亘(鹿児島純心女子短期大学)	2-2 「責任の社会的つながりモデル」の射程と可能性—正義にかなう社会における「連帯」— 報告者：石黒太(就実大)	3-2 会計システムとコミュニケーション—ルーマン理論を視座として— 報告者：近藤汐美(京都経済短大)
	討論者：大野正英(麗澤大) 座長：石田幸生(亜細亜大)	討論者：平手賢治(岐阜協立大) 座長：小島秀信(同志社大)	討論者：畑山要介(豊橋技術科学大) 座長：水原俊博(信州大)
11:30-12:20	1-3 財政基盤からみた現代NPO組織の典型パターンとその特徴—計量調査データを用いた探索的検討 報告者：山本圭三(摂南大)	2-3 自生的な善き生(Well-being)の理論 報告者：橋本努(北海道大)	3-3 「サイクロンウィンストン」がフィジーの一農村に与えた経済社会的インパクト及び近代化をめぐる考察—ヤンゴナ共飲儀礼とタロ芋生産に付与された新たな価値とその諸実践— 報告者：高橋玲(東京通信大)
	討論者：戸川和成(東海大) 座長：野尻洋平(名古屋学院大)	討論者：間々田孝夫(立教大) 座長：田中人(愛知学泉大)	討論者：鈴木康治(第一工業大) 座長：古市太郎(文学院院大)
12:20-13:10 昼食			
13:10-14:00 大会校挨拶(A2教室) 山田秀(熊本大)			
1-4 特別講演(A2教室) 木村博子(平成音楽大) 音楽が紡ぎ出す社会のハーモニー～コミュニティ音楽療法による地域支援の試み			
14:10-15:40 1-5 共通論題「絆の経済社会学」(A2教室) 座長：宇佐見義尚(板垣與一記念館)・永合位行(神戸大) 報告 (1) 加藤壮一郎(熊本都市政策研究所) 平成28年熊本地震・災害時の共助活動にみる絆 (2) 豊山宗洋(大阪商業大) 断酒会における当事者の絆とその形成要因 (3) 恩田守雄(流通経済大) 日本と東南アジアの互助慣行の比較—金融互助における絆—			
15:50-17:10 共通論題討論(A2教室) (1) 金川幸司(静岡県立大) (2) 古市太郎(文京学院大) (3) 大西秀典(元尾道市立大) 共通論題 一般討論			
17:40 懇親会(くすの木会館)			

第2日 9月8日 日曜

9:00 受付開始			
9:30-10:20	A2教室	A3教室	B3教室
1-6	東京・特別区におけるローカル・ガバナンスの実証研究—ソーシャル・キャピタルが政策満足度を高めるメカニズムの解明— 報告者: 戸川和成(東海大)  討論者: 上沼正明(早稲田大) 座長: 藤岡真之(弘前学院大)	2-6 ドイツの移民・統合政策について 報告者: 田村穂(神戸大・院)  討論者: 森周子(高崎経済大) 座長: 小林甲一(名古屋学院大)	3-6 飲料水の選択要因としての清潔志向 報告者: 鈴木康治(第一工業大)  討論者: 山本圭三(摂南大) 座長: 寺島拓幸(文京学院大)
10:30-11:20	1-7 社会経済的地位と向社会的行動—長野県須坂市における定量的検証— 報告者: 朴珥怜(日本大)・稲葉陽二(日本大)  討論者: 織田輝哉(慶応大) 座長: 永合位行(神戸大)	2-7 フリーランスの就業実態と社会保険加入状況の考察—フリーライターへのアンケート調査結果を中心に— 報告者: 唐津周平(神戸大・院)  討論者: 渡辺幸良(同朋大) 座長: 宮垣元(慶応大)	3-7 ラウンドテーブル 消費市民社会論の新たな動向 コーディネーター: 橋本努(北海道大) 報告: (1) 水原俊博(信州大) 文化的消費の経済社会システム (2) 畑山要介(豊橋技術科学大) 倫理的消費の理解社会学—K.ソパールの代替的快楽主義の議論を通じて (3) 生垣琴絵(沖縄国際大) 消費社会論の源流—アメリカにおける消費経済学
11:30-12:20	1-8 社会関係資本の継承と地域差—長野県須坂市のケースからの考察 報告者: 稲葉陽二(日本大)  討論者: 金光淳(京都産業大) 座長: 山岡淳(神戸大)	2-8 人的特性アセスメントの作成と離転職問題への応用 報告者: 西岡暁廣(同志社大)・山本圭三(摂南大)・吉田佐治子(摂南大)・栢木紀哉(摂南大)・野々村元希(同志社大)  討論者: 廣瀬毅士(東京通信大) 座長: 三田知実(熊本県立大)	
12:20-13:10	昼食		
13:10-13:50	総会(A2教室)		
14:00-14:50	1-9 地方政府—市民社会組織関係によるローカル・ガバナンスの時系列分析 報告者: 戸川和成(東海大)・李俊九(筑波大・院)  討論者: 加藤喜昌(姫路獨協大) 座長: 鈴木純(神戸大)	2-9 現代中国と伝統中国—周期的王朝交替の歴史から考える— 報告者: 竹下公視(関西大)  討論者: 川西重忠(桜美林大) 座長: 佐々木亘(鹿児島純心女子短大)	3-9 育児と介護を同時に担うダブルケア当事者の支援ニーズと課題 報告者: 澤田景子(名古屋学院大学)  討論者: 伊東真理子(東京福祉大) 座長: 松信ひろみ(駒澤大)
15:00-15:50	1-10 要支援高齢者においてソーシャル・キャピタルが抑うつに与える影響に関する研究 報告者: 趙雅雯(東京福祉大・院)  討論者: 藤岡秀英(神戸大) 座長: 宮本恭子(島根大)	2-10 第四次産業革命時代におけるアソシエーツ・リーダーシップに関する研究—中国の「海底撈ホットボット」の事例を中心に 報告者: 徐天堯(大阪産業大・院)  討論者: 木幡伸二(福岡大) 座長: 竹下公視(関西大)	3-10 サービス付き高齢者向け住宅における“人の絆”~NTT都市開発“つながるプロジェクト”からの考察~ 報告者: 磯井純充(大阪府立大・院)  討論者: 近藤重晴(東京福祉大) 座長: 豊山宗洋(大阪商業大)

自由論題:

報告30分 予定討論10分 一般討論10分

共通論題:

報告各30分 予定討論各15分 一般討論35分